

2008年タングステン工業発展報告

アドバンストマテリアルジャパン(株) 訳

2008年、世界金融危機の影響を続き、タングステンの市場需要が弱まる。タングステン製品の輸出減少、価格下落、タングステン産業の経済成長は明らかに減速。

1. 2008年タングステン工業発展現状

1.1 経済運行情況

1.1.1 生産能力

2008年、タングステン鉱石の採掘能力、タングステン精錬加工能力の成長速度は多少に緩めるが、全体的には成長態勢を持続している。不完全な統計によると：

55社のタングステン精錬企業のAPT生産能力は18.0万トンであり、2007年の16.10万トンより1.9万トン増加、増加率11.80%、増幅加速3.1%。

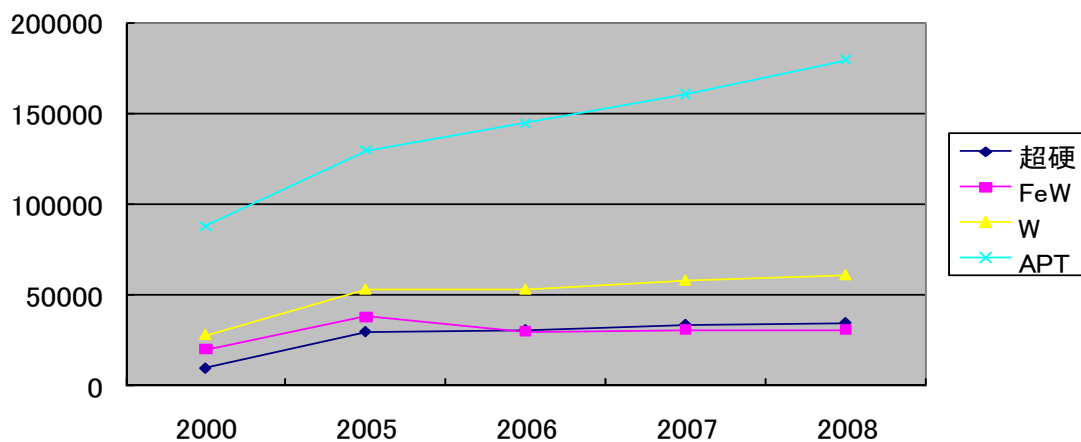
70社のタングステン粉生産企業のタングステン粉生産能力は6.16万トンであり、2007年の5.76万トンより0.4万トン増加、増加率6.94%、増幅加速1.45%。

199社の超硬生産企業の生産能力は3.49万トンであり、2007年の3.39万トンより0.10万トン増加、増加率2.95%、増幅減速10.62%。

34社のタングステンワイヤー生産企業のワイヤー生産能力は400億メートル、2007年の300億メートルより100億メートル増加、増加率33.33%。

7社のフェロタングステン生産企業の生産能力は2007年の3.1万トンとほぼ横ばい。

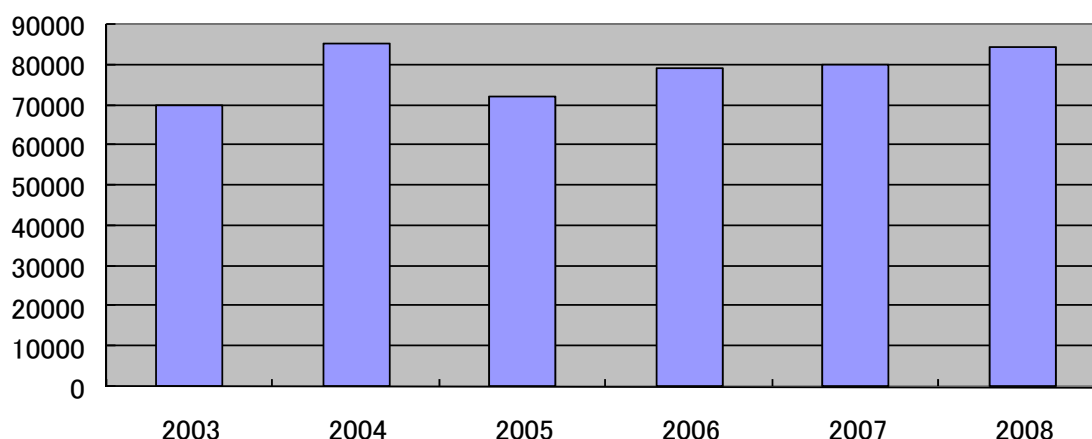
図-1 2000-2008年中国主要タングステン製品の生産能力 (t)



1.1.2 生産量

有色金属協会の統計による、2008年の全国タングステン精鉱生産量は84,470トンであり、2007年より5.01%増加、増幅は4.94%、3年連続の増加態勢が続く。全体的には8万トンのレベルである。

図2 2002-2008年全国タングステン精鉱生産量 (WO₃ 65%トン)



タングステン協会の統計による、タングステン精錬加工製品生産量は製品別の増減があるが、全体的には増加態勢を続ける。

表1 2008年主要タングステン製品の全国生産量と前年同期比 (万トン・億メートル)

品名	APT	酸化W	W粉	FeW	棒	ワイヤー	超硬
2007	5.49	4.62	2.19	1.20	0.33	212	1.65
2008	5.29	4.25	2.41	1.10	0.34	228	1.70 予測
%	-3.46	-8.01	10.05	-8.33	3.03	7.55	3.03

1.1.3 販売収入と利潤

全業界の販売収入は391億元であり、2007年の356億元より9.83%増加、伸び率は4.63%落ちます。利潤38.4億元、2007年の67.4億元より43.03%減少。

表2 2004-2008年全国タングステン業界の販売収入及び利潤 (億元)

年	2004	2005	2006	2007	2008
利潤	13.3	59.6	63.8	67.4	38.4
収入	139	261	311	356	391

1.2 産業構造

1.2.1 製品構造

製品構造、製品ランクが一層に引き上げ。先進的な技術と設備の導入、技術改造によって、超硬の製造設備レベルと品質も向上させ、国際先進的なレベルとの差が縮小。初級原料のタングステン製品輸出量は減少、タングステン最終製品の生産量と輸出量は増加。2008年、初中級タングステン製品の輸出量は総輸出量の81.86%を占め、2007年より5.9ポイント減少。超硬、ワイヤー、棒などの最終消費品は18.14%を占め、2007年より5.9ポイント増加。初中級タングステン製品は主輸出品の仕組みは有る程度改善させる。

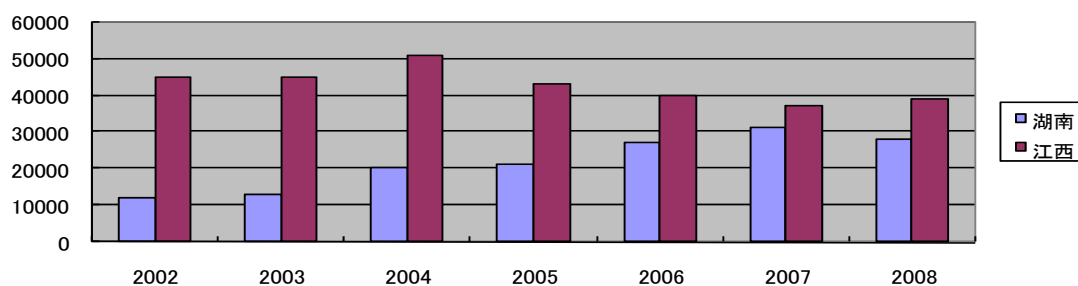
1.2.2 産業分布

川上川下企業合併・再編、一体化集団化に発展し続き、産業集中度は有る程度向上。

タングステン鉱山は主に江西、湖南にある。2008年、両省のタングステン精鉱生産量は66,896トンであり、前年比1.91%減少。全国総生産量の79.19%を占め、比率は前年比5.6ポイント減少。

湖南省の精鉱生産量は上昇趨勢であり、江西省の精鉱生産量は減少趨勢である。

図-3 2002~2008年江西、湖南のタングステン精鉱年間生産量の変化対比(WO3 65%トン)



江西、湖南、福建、四川と広東等省のタングステン精錬加工は重要な地位を占め続き。2008年年末、江西のAPT生産能力は8.67万トン、前年比11.58%増加、増幅減速2.35ポイント、全国のAPT生産能力の48.17%を占める。超硬などの川下産業は快速的に発展。株洲と自貢は超硬産業の主導地位を維持続き、深セン市は微型ドリルの生産量は世界4位以内に維持続き、アモイは世界最大のタングステンワイヤー生産地の地位を維持。

1.2.3 産業経済

2008年、タングステン輸出税、資源税は大幅上昇などのマクロ経済調整政策の効果が表せ、タングステン産業の経済増加は明らかに減速、マイナス増加が生じる。

大手国有企業の産業比重と経済総量は一層に拡大。全国、タングステンを主要業務としての企業の販売収入を10億元超の企業は6社であり、2007年より1社減少。その中40億元以上は4社に維持。7社企業の販売収入は全業界の約60%を占めている。江西省のタングステン産業経済発展は快速趨勢を維持続き、タングステン産業経済総量は既に全国タングステン産業経済総量の50%を超えた。2008年贛州市のタングステン販売収入は150億元に達した、2007年より12%増加、増幅減速22ポイント。

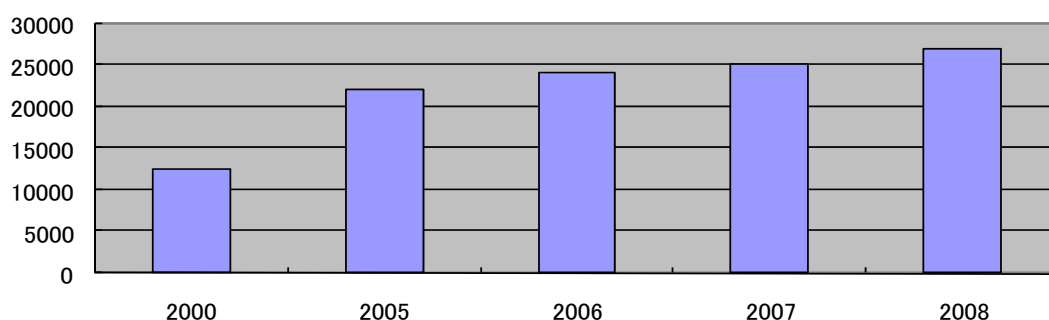
民営企業の快速発展態勢を維持続き、民営資本はタングステン鉱山に参入続き、タングステン精錬加工分野の新設立された生産規模中、民営資本が参入する生産ラインは相応な比率を占め続く。

1.3 市場及び価格

1.3.1 市場需要

近年、タングステン消費量は安定的に増加である。タングステンの国内需要は2.6万トン(マテリアル量)を超えると予想され、2007年の2.50万トンより4.0%増加、増幅は有る程度減速。関する資料による、2007年世界タングステン消費量は6.46万トン(金属量)です。

図-4 1995～2008年中国タングステン消費量の変化 (マテリアルトン)



2008年、中国のGDP増加率は9%である。全社会の固定資産の投資比率は前年より25.5%増加、経済の加速発展及び投資増加はタングステン需要の増加を促進。全国の鋼材生産量5.82億トンであり、2007年より3.6%増加。32社特殊鋼企業の特種鋼生産量は7,049万トンであり、2007年より0.25%減少。自動車生産量は961.54万台、2007年よ

り 6.5%増加、増幅は 15.5 ポイントに反落した。上記のタングステン消費に関する主要工業製品の生産量の増幅は明らかに減速、国内市場のタングステン需要の増加に影響を与えた。

1.3.2 市場供給

2008 年、タングステン市場供給は需要より少し上回る、但しタングステン精錬加工能力の余計問題は依然として嚴重、個別の精錬工場は長期的に生産停止若しくは半停止の状態である。

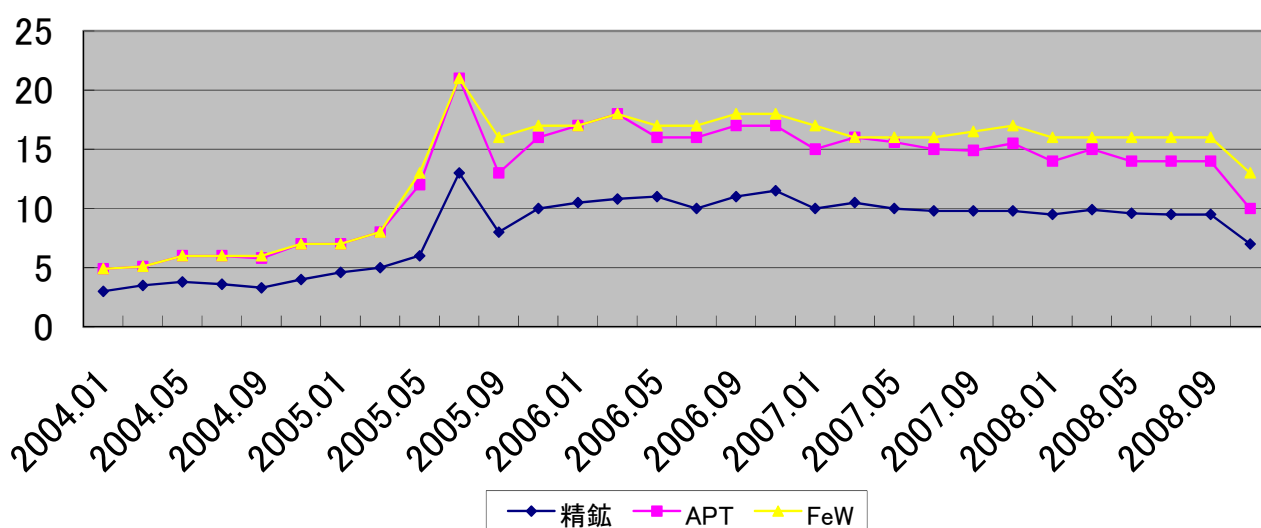
タングステン鉱石の整理統合に伴って、伴生鉱、低品位鉱石及び尾鉱石の総合回収量の増加によって全国タングステン精鉱の生産量も有る程度増加。但し、一部の主要鉱区は深層採掘、品位低下及び資源干ばつの原因で、タングステン精鉱生産量は有る程度減少、ある地区は明らかに減少、全体的なタングステン市場供給は安定である。

2008 年、タングステン精鉱の輸入量 10,131.8 トンであり、2007 年より 8.82%増加、超硬のリサイクル量は 5,000 トン以上維持、マテリアル量に換算すると 4,150 トンである。年間タングステンのリサイクル量は 10,000 トン(マテリアル)に達すると予想される。

1.3.3 市場価格

国内の精鉱価格は 2006 年に 10 万元/トンを超えた後、2 年連続反落だった。2008 年年末にタングステン精鉱価格は 6 万元/トン以下に反落、タングステン精錬加工品の価格も反落した。

図-5 2004 年 1 月~2008 年 12 月国内主要タングステン製品の月間平均価格趨勢 (万元/t)



2008年国内精鉱の年間平均販売価格は8.36万元/トン、2007年の9.39万元/トンより15.47%減少、月平均価格の最大落幅は39.96%。国内APTの年間平均販売価格は13.13万元/トン、2007年の15.29万元/トンより14.13%減少、月平均価格の最大落幅37.75%。国内フェロタングステンの年間平均販売価格は15.54万元/トン、2007年の16.96万元/トンより8.37%減少。月平均価格の最大落幅は26.89%。

1.4 対外貿易

1.4.1 輸出入総量

2008年タングステン製品の輸出は関税引き上げ及び世界金融危機の二重影響でタングステン企業、特にタングステン製品輸出貿易企業は厳しい試練と挑戦を受け。タングステンの輸出総量は減少し続き、タングステン製品の輸入数量は安定しながら伸びている、特にタングステン精鉱輸入量は増加態勢を維持し続く。

2008年、輸出タングステン製品27120.5トン(マテリアル量、超硬を含まない、下記同じ)、2007年より9.34%減少、落幅は2007年より3.68%拡大。輸出金額は9.30億ドル、2007年より10.52%減少、落幅は2007年より5.81%拡大。

表4 最近5年タングステン製品の輸出数量の比較 (マテリアルトン)

項目	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
輸出総量	30292.0	33782.1	34253.6	32990.0	30320.5
その中：E/L品	18681.2	21225.0	19240.7	17155.5	17341.7
FeW	5070.8	4568.4	4433.0	5037.5	3674.6
W材	1966.8	2048.1	1389.5	961.9	2299.7
未焼結の炭化物	2966.2	3281.0	3018.6	3212.2	2939.4
超硬合金	2614.3	2631.9	2543.1	3075.2	*3200.0
超硬除く輸出量	27677.7	31150.2	31710.5	29914.8	27120.5

*：2008年超硬製品の統計結果はまだ出ていない。この数字は予想数値であり、15社超硬が提出したデータで(1~9月)、輸出超硬2922トン(実物量)、前年比17.65%増加、輸出金額4.23億ドル、前年比12.69%増加。

表5 最近5年タングステン製品(精鉱含む)の輸入量比較

項目	単位	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
輸入量	t W	2355.3	4600.4	7890.9	5934.3	6629.8
W粉とW材	t W	798.5	750.1	311.0	250.6	262.1

輸出量の比率	%	33.9	16.3	3.9	4.2	4.0
輸入金額	万ドル	5431.0	9712.9	20174.5	16538.1	17726.0
平均価格	ドル/tW	23058.6	21113.2	25566.8	27868.7	26736.6

2008年、タングステン製品 6629.8 トン(マテリアル量、精鉱含む、下記同じ)、2007年より 11.72%増加、輸入金額は 1.77 億ドル、2007年より 7.18%増加。その中タングステン精鉱輸入量は 5217.9 トン、2007年より 8.82%増加、輸入総量の 78.70%を占める。

1.4.2 輸出入価格

年初のタングステン製品輸出税引き上げ及び南方の大雪災害によって、タングステン製品の価格は少し上昇、その後少し下落、第4四半期に大幅下落だった。

主要のタングステン輸出製品 APT、FeW、W ワイヤーの輸出月平均価格の年内最高値は 31653.2 ドル/マテリアルトン、35868.5 ドル/マテリアルトン及び 80794.5 ドル/マテリアルトンである。最低値は 28404.6 ドル/マテリアルトン、23952.6 ドル/マテリアルトン及び 72639.3 ドル/マテリアルトン。最大の落幅は 11.44%、15.95%及び 11.23%である。図-6,7,8 と表 6 のとおり：

図-6 最近 3 年(2006.01~2008.12)主要タングステン製品の輸出月平均価格趨勢(ドル/マテリアルトン)

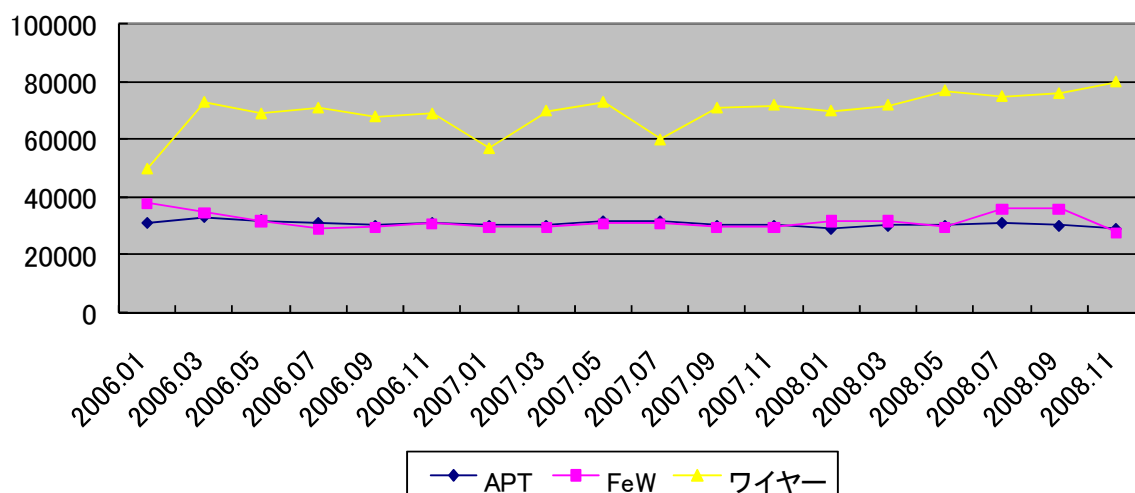


図-7 2001~2008年タングステン製品輸出入総合年間平均価格趨勢（ドル/マテリアルトン）

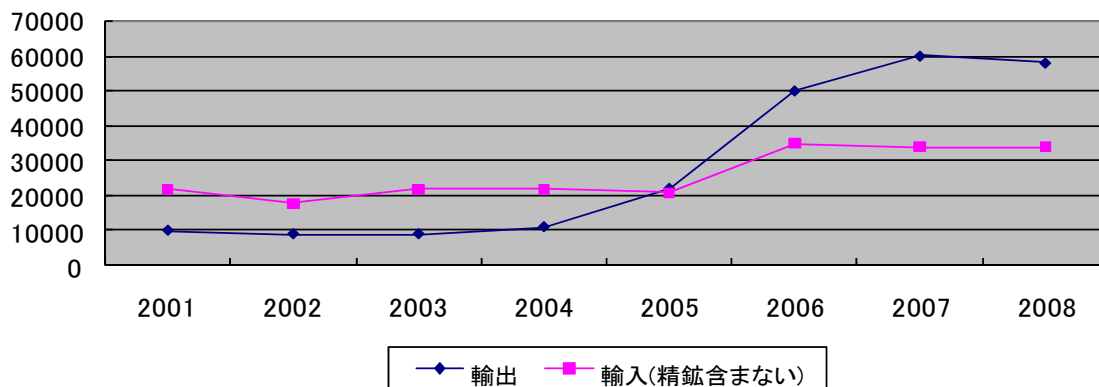


図-8 最近3年(2006.01~2008.12)タングステン製品の総合輸出月平均価格趨勢(ドル/マテリアルトン)

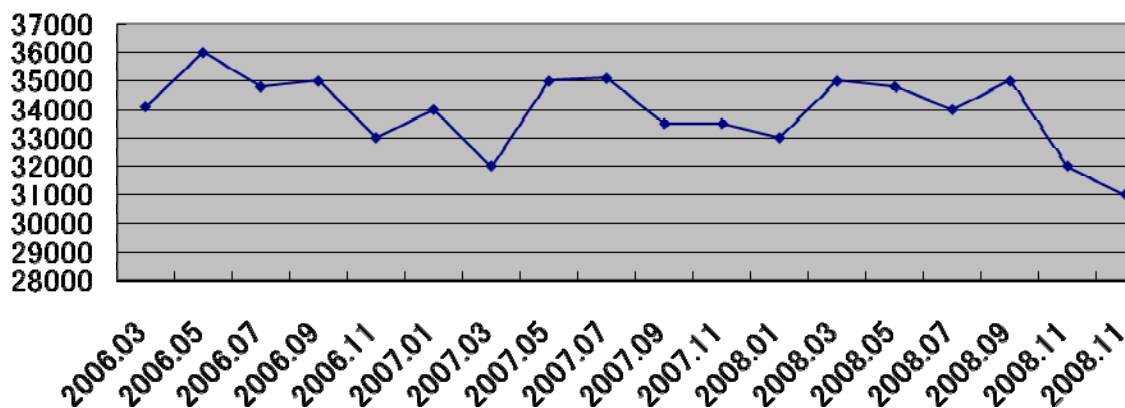


表6 最近5年主要のタングステン製品輸出年間平均価格（ドル/マテリアルトン）

輸出商品名	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
タングステン酸	7397.4	19335.2	33426.2	32930.0	36045.3
酸化タングステン	7878.1	19334.2	32320.0	30492.4	30394.3
タングステン酸化物 及び水酸化物	7635.5	20588.6	31972.6	31413.5	30465.6
APT	6520.5	16919.8	32734.1	31153.2	30466.6

タングステン酸ナトリウム	5505.5	15902.2	27492.0	28907.0	30460.0
AMT	7961.0	17611.4	35511.5	35254.4	34825.9
フェロタングステン	7036.0	18803.8	31228.6	30485.8	32722.8
タングステン粉	11860.3	22589.4	34708.5	34327.6	34076.7
炭化タングステン	12466.2	26897.5	36504.8	36960.5	37040.2
未焼結の金属炭化物	13581.2	19845.0	37408.9	35155.5	36200.6
タングステンバー、型材及び異型材等	12626.6	27601.2	36812.5	62792.4	32835.9
タングステンワイヤー	37557.4	44547.9	66946.7	70068.0	76123.5

2008年輸入タングステンバーの価格は124110.7ドル/トン、2007年より27.22%減少、輸出価格の3.78倍である。輸入タングステンワイヤーの価格は172750.1ドル/トン、2007年より6.40%減少、輸出価格の2.27倍である。輸入と輸出価格の差は依然として広がっている。

図-9 最近5年タングステンバーの輸出入価格比較(ドル/トン)

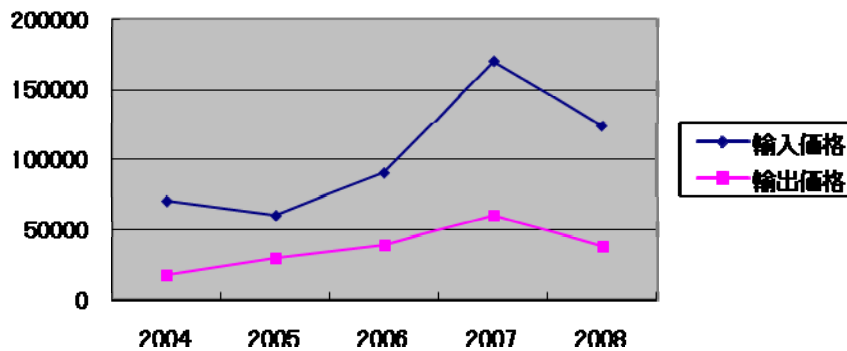
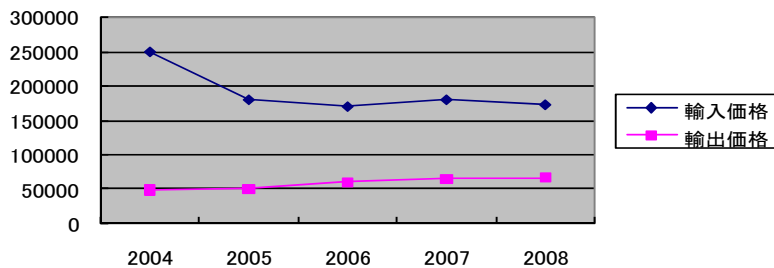


図-10 最近5年タングステンワイヤーの輸出入価格比較(ドル/トン)



1.4.3 国際タングステン市場

中国タングステン製品は主に欧州とアジアに輸出している、輸出総量の 77.7%を占める。

輸出量から見ると：2007 年と比べ、輸出量では、日本は 4.7%増、韓国 1.4%減、アジアその他地域は 0.6%減、米国は 3%増、西欧は 7%減。表 7 に参照。

輸入量から見ると：カナダ、ロシア、タイ、コンゴ、ルワンダ等 5 カ国よりタングステン精鉱輸入量次々と 1639.6 トン、1189.7 トン、726.8 トン、516.4 トンと 314.6 トン。それぞれタングステン輸入総量の 31.42%、22.80%、13.93%、9.90%、6.03%を占める。5 カ国よりタングステン精鉱の輸入量は総量の 84.08%を占める。

表 7 最近 5 年タングステン製品の輸出各地域の割合変化

地域	輸出量%					輸入量%				
	2004	2005	2006	2007	2008	2004	2005	2006	2007	2008
日本	24.1	27.1	24.0	22.7	27.4	24.1	29.3	24.2	22.1	26.8
韓国	8.7	9.2	8.3	12.4	11.0	8.2	9.1	8.1	12.0	11.2
アジアその他地域	7.9	8.2	8.0	8.3	7.7	10.3	8.2	8.4	10.8	8.4
アジア合計	40.8	44.6	40.3	43.3	46.1	42.6	46.6	40.7	44.8	46.4
西欧	39.6	38.7	39.6	38.6	31.6	40.1	37.2	38.7	36.7	31.0
米国	12.6	13.1	17.9	15.5	18.5	12.4	12.5	18.7	15.9	18.7

1.5 投融資の状況

大型企業集団の海外進出によって海外タングステン資源利用及び国内タングステン資源整理統合には進展させ、タングステン業界の投資は増加態勢を維持している。

中国五鉱集团公司は湖南省国有資産委員会と戦略提携意向書を調印、増資拡株の方式で湖南有色金属持株集団の 40%の株持ちに計画している。

江西稀有希土金属 W 業集团有限公司の増資拡株を完成、国有独資有限会社から国有持株有限会社になった。同社は日本東芝との合弁会社江西東芝電子材料有限公司 ThW ワイヤー・ReW ワイヤーの加工プロジェクト、江西天合新材料有限公司の超合工具生産ラインが稼働した。

アモイタングステン株式有限公司の国家タングステン材料プロジェクト技術研究センターの建設を加速、精密切削具のプロジェクトはまもなく稼働。

自貢硬質合金有限公司のタングステンワイヤー生産ラインの建設完成。

香港海貫新材料持株有限公司より 4,000 万ユーロの投資で、年間 3,000 トン球形シリコン微粉、2,000 トン炭化タンクステン及び 2,000 トン炭化タングステン球化プロジェクトは、

10月に四川成都新津工業区に建設予定された。

湖南有色金属持株集团有限公司は新田岭鉍区の14社鉍山に対する整理統合を完成し、湖南有色新田岭 W 業有限公司は9月に設立した。アーストラリアの皇島・白タングステン会社と合資協議を調印。

福建寧化金江 W 業有限公司の年間生産能力 APT-5,000 トンの新精練工場は11月に建設始まり。

贛州市はタングステン及び希土類新材料輸出新基地の建設に努力し、川上下企業の再編合併を導く、採掘加工一貫化に形成され。崇義章源W業株式有限公司のタングステン系高性能硬面材料生産ラインを導入、大余隆鑫泰W業有限公司の年間 APT-5000t、W粉 2000t 生産ラインを導入、贛州中瑞材料技術有限公司の優質タングステンバー試作開始。

辰州鉍業公司是湖南中南五金鉍産輸出入有限公司、衡陽南東有色金属有限公司が湖南中南 Sb&W 工業貿易有限公司の49.94%株を買収、全面的に中南 Sb&W を持株。

洛陽 Mo 都鉍業有限公司、縦和炉料冶金有限公司と北京天龍 W&Mo 科学技術有限公司を連携し、洛陽 Mo 都 W&Mo 科学技術団地を設立、当該プロジェクトは10億円の投資を計画し、年間5000トンAPTの生産ラインは設備調合段階に入った。

雲南麻栗坡タングステン鉍石資源の整理統合を一層推進。紫金鉍業は雲南麻栗坡国有資産局と麻栗坡珞玮を協議し、麻栗坡県紫金 W 業会社に共同増資、資本金は10億元に増加し、会社名は文山麻栗坡紫金 W 業集团有限公司に変更。南温河W鉍山の第二選鉍工場など相継いで生産回復、文山麻栗坡紫金 W 製品開発有限公司の一期年間 APT5,000 トン生産プロジェクトの操業を開始。

2. 2008年タングステン工業経済運行情況の分析

2.1 政策環境の分析

2008年国土資源部等の9省庁との連合で全国鉍産資源開発秩序の整頓規範「回頭看」行動を実施、タングステン資源開発分野の違法行為を厳粛処置。

国土資源部は「2008年タングステン鉍及び希土採掘の総量抑制の通知について」(国土資産2008-65号文)を公表、2008年全国タングステン精鉍の採掘総量は66,850トン(WO365%ベース)、2007年の5,9270トンより7,650トン増加、増加率12.79%。その中、主採掘タングステン総量指標59,440トンで、2007年の54,810トンより4,630トン増加、増加率8.45%、総合リサイクルタングステン指標7,410トンで、2007年の4,460トンより2,950トン増加、増加率66.14%。

2008年1月1日から、賦課始まる及び引き上げタングステン製品輸出暫定税5%—20%。その中、フェロタングステンは10%から20%、FeSiWは15%から20%に引き上げ。APTの輸出税は5%から10%、タングステン酸塩類は0から10%に引き上げ、タングステン粉

と炭化タングステンは5%に維持。商務部は初中級タングステン製品輸出のE/L管理し続き、輸出枠は年々減少。発表された2008年のタングステン及びタングステン製品のE/L枠は金属量に換算すると1.29万トンがあり、2007年より3.25%減少。

国家は資源性製品に対する制御、特に戦略的な保護性タングステン資源製品の輸出に対するマクロ調整政策は長期的な戦略施策であり、輸出製品の構造調整、産業革新、中国タングステン工業の科学発展を促進為の重要方針である。

2.2 企業経営形勢の分析

2008年、タングステン輸出減少、価格下落、タングステン業界の全体利益に厳重な影響を与えた。幾つかタングステン企業は経営困難、損失を拡大、部分タングステン鉱山と精錬加工工場は生産停止または半分停止状態である。

タングステン採掘企業だけではなく、精錬企業と輸出貿易企業の経営コストは大幅上昇、企業の経営は厳しい試練を受ける。鉱山企業は鉱山使用年数を延長する為に、環境保護、技術革新、深部底辺の探査及びインフレインフラに投資を拡大。深部の採掘及び鉱石品位低下、採掘コストをしきりに上昇。同時に、資源税とタングステン輸出税の大幅増加などの新財税政策、従業員の待遇引き上げ及び企業雇用制度の変化などの原因で、企業の資金使用コスト、管理費用と生産コストを増加。

2.3 産業構造の分析

2008年、タングステン産業構造の調整歩調は加速続き。大中型企業集団の発展を加速続き、全国タングステン工業中の割合は一層増大、産業リンケージを延長続き、産業構造は有る程度改善したが、産業全体の企業多、規模小、産業集中度低の状況は根本的な変化が無い。

国有鉱山の閉鎖破産、制度改造再編、地方鉱山の整理統合、民営資本がタングステン採掘に参入、資源整理調合を加速続きに伴って、タングステン鉱山企業の資本構造も大きな変化した。調査によると、団体民営鉱山は各半数であるが、1980年代にほとんど国有鉱山の局面だった。

2008年、中国タングステン製品の輸出量はタングステン生産量の62.34%を占め、タングステン工業経済の推進は輸出に頼まれている仕組みは根本的な変化が無い。

2.4 市場需給形勢の分析

2008年、国家マクロ政策調整と世界金融危機の影響を受け、タングステン工業に対する投資は減少し始まり、ある程度タングステン採掘総量の拡張及び市場供給量の増加を緩和。川上下企業の再編調整し続き、タングステン産業リンケージは一層に延長、産業分布と製品構造は一層合理的になり、市場運営能力とリスク防御能力は有る程度増加、タングステン市場の需給バランスの安定に促進。

タングステンの E/L 率は年々減少、年始のタングステン製品輸出税の大幅引き上げ及び世界タングステン需要量の減少によって、タングステン製品の輸出は大きな衝撃を受けた。タングステン精錬能力の一層増大によって、タングステン原料の需要は増大したが、最終付加価値製品は中間製品に対する需要は限りがあるので、タングステン中間製品の供給は重要より多い、これらの構造的な矛盾はタングステン市場価格の安定及び企業の経営効率に嚴重影響した。

2009 年、世界金融危機は世界経済に対する影響は続き、タングステン市場の需給とタングステン経済の発展に影響を与え、タングステン市場需要の回復及び価格の再上昇は試練に臨む。市場需要の回復、自信を強めるに伴って、タングステン市場価格の安定と再上昇する事は必然な趨勢である。

2.5 市場競争の分析、国際同業の発展状況と趨勢

2008 年、中国のタングステン輸出価格と輸入価格の差は依然として高い。国外の先進的なタングステン工業に比べて、中国タングステン工業は製品の適正進級、自社の知的財産権の精錬技術と製品の研究開発を一層に加速、企業発展環境とコア競争力の向上が必要である。

中国タングステン工業の産業集中度は有る程度改善が、根本的な変化が無い。競争力は有る程度増加が、タングステン高付加価値加工分野の高技術、製品の市場競争力は足りない。海外の先進レベルに比べると、ハイエンドの超硬バー、高級超硬ドリル、工具及び高級タングステンワイヤー・材等製品の格差は依然として大きい。金融危機の中で、国家マクロ調整政策の発展機会を充分に利用と把握、ピンチからチャンスに、国内市場を拡大し、国際先進レベルを追い越し、国際市場競争力を向上し、高付加価値製品の国際市場を開拓する事は中国タングステン工業の当面には緊迫である戦略任務です。タングステン資源整理調合を加速、合理的にタングステン資源を開発利用、タングステン産業の集中度及び自社创新能力を向上は中国がタングステン工業強国に成る為に根本的な生き延びる道です。

3. 当面タングステン工業発展の著しい問題

3.1 著しい問題

3.1.1 タングステン鉱石の採掘総量はバランスが崩れている、整理粛清、総量抑制、業界自製の強化を待たなければならない。

国家はタングステン業界に対する整理粛清、総量抑制、業界自製の力を入れ強め続き、タングステン採掘総量の抑制の段階性成果は顕著であるが、近年タングステン市場の好転

によってタングステン鉱石の採掘は拡張続き、ある地方のタングステン鉱石の採掘秩序は根本的な好転が無く、超指標、無指標の採掘は依然としてある、タングステン市場秩序及び中国タングステン工業の持続可能な発展に影響を与える。

3.1.2 業界管理、政策を遂行出来なく、盲目的な過剰投資、タングステン経済発展の方式は転化が必要

中国のタングステン工業は百年を至って、新たな歴史発展段階に入った。しかし近年の持続な加速発展により新たな内部構造的矛盾が発生。資源を大量消耗、犠牲環境に頼り、「低コスト・低レベル・低効率」の発展方式は続けない。タングステン採掘業は「上有政策、下有対策」、管理を遂行出来なく、盲目的な過剰投資によって産業構造のバランスを崩れ。対外貿易、国内流通及び税金徴収などの政策は未だ完全にしていない、発展中の不安定、不均衡、不調問題は依然としてある、既に中国タングステン工業経済発展に解決しなければならない重要問題になる。

3.1.3 企業自主イノベーション能力が足りなく、企業のコア競争力と国際競争力の向上を待たなければならない

企業の規模小、数量多、製品等級低、産業集中度低の現状は多少改善したが、根本的な転化が無く、企業自主イノベーション、製品適正創新、業界戦略は遅れである。業界の全体競争力の向上及び中国はタングステン工業強国に実現する事に嚴重な影響を与えた。

3.2 対策提案

3.2.1 [回頭看] の諸施策を実際的に遂行、タングステン採掘総量を抑制

計画的な保護性採掘を実施、総合回収率を引き上げ、海外資源の開発利用を励ます、国内タングステン資源の消費量を減少、鉱山使用年数を延長させる。早めにタングステン業界参の一体化施策を制定し、多金属の名義でタングステンを採掘、探査の名義で採掘、混乱採掘などの違法行為に対して特定項目の整理を実施、違法の小規模選鉱精練工場を取り締まる。タングステン鉱石資源の探査採掘許可証の審査及び発給を厳格にコントロール、採掘許可証の発給を継続停止、鉱山技術改造及び新採掘プロジェクトを厳格審査、タングステン鉱石の採掘総量を厳格に抑制。

3.2.2 国家がタングステン鉱石資源及び製品に対する備蓄制度の設立を提案します

タングステン資源の戦略備蓄を打ち立て、新発現の鉱区を有効的に保護する、タングステン業の継続可能な発展に安定な資源保障を提供する。タングステン製品の商業備蓄を打ち立て、市場調合、金融危機に有効対応。

3.2.3 科学的な発展観を実行、タングステン初級製品の生産能力の盲目的な拡張を規制

国家発表のタングステン政策を徹底的に実行、適合施策でタングステン初級製品の生産能力の盲目的な拡張を規制。企業の技術改造、自主イノベーションを励ます、製品構造の調整及び産業進級を加速。企業は先進的な設備を導入、生産技術の自主イノベーション改造に対して、国家は財税優遇政策を補助する事を提案します。

3.2.4 資源整理調査を加速、地質探査の力を強める、タングステンの継続可能な発展を促進

温家宝総理がタングステン業百年発展に対して“保護と合理的な開発利用の方針を堅持、タングステン業の継続可能な発展を実現”の指示を本気に遂行。資源整理調査を加速、地質探査の力を強める、低品位タングステン鉱石資の総合利用及びタングステンスクラップのリサイクルを励ます。循環経済の発展を努力し、環境保護、資源利用率を引き上げ、タングステン業の継続可能な発展を促進。

3.2.5 市場行為を規範し、悪性競争を規制、タングステン業の調和を促進

タングステン原料分野及び輸出分野の管理に力を強め、タングステン原料取引はインボイスを基にする及び精鉱採掘は許可枠を基に管理を実施し、タングステン原料市場の無秩序流通を規制。タングステン市場の流通行為を規範。辺境貿易または偽名義等のタングステン密輸行為を厳格に攻撃。業界の調和自制を一層に強める、安定市場、安定価格、タングステン業の調和を促進。